



2019年5月15日

各位

会社名 ワタミ株式会社
(コード番号 7522 東証第一部)
代表者名 代表取締役社長 清水 邦晃
問合せ先 取締役(経営企画本部管掌) 小田 剛志
(TEL 03-5737-2784)

特別損失及び繰延税金資産の計上並びに業績予想値と実績値の差異に関するお知らせ

2018年11月14日に公表した2019年3月期の連結業績予想と実績値につきまして、下記のとおり差異が生じたのでお知らせいたします。また、下記の通り特別損失及び繰延税金資産の計上につきましてもその概要をお知らせいたします。

記

1. 2019年3月期通期連結業績予想と実績値との差異(2018年4月1日～2019年3月31日)

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する当期 純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	92,100	700	900	700	17円90銭
今回発表業績(B)	94,701	1,062	1,229	1,373	35円14銭
増減額(B-A)	2,601	362	329	673	17円24銭
増減率(%)	2.8	51.8	36.5	96.2	96.3
<ご参考>前期実績 (2018年3月期)	96,458	656	1,636	150	3円86銭

【差異の理由】

当連結会計年度においては、引き続き国内外食事業の立て直しに注力し、「和民」「わたみんな」からの業態転換として「ミライザカ」「三代目鳥メロ」を展開するなど、売上獲得、収益改善施策を講じてまいりました。これらの取り組みにより、国内外食事業は、既存店売上高前年比が101.4%となり、当初計画を上回ることとなりました。また、業績動向及び今後の業績見通しを踏まえ、繰延税金資産の計上を行った影響により、法人税等調整額を計上したことなどから、営業利益、経常利益及び親会社株主に帰属する当期純利益が予想を上回る結果となりました。

2. 特別損失の計上について

当連結会計年度においては、「固定資産の減損に係る会計基準」に基づき、閉店の意思決定を行った国内外の外食店舗及び収益性の低下により固定資産の減損対象となった国内外の外食店舗等について減損処理を実施し559百万円の減損損失を計上いたしました。

3. 繰延税金資産の計上について

当社の業績動向及び今後の業績見通しを踏まえ、繰延税金資産の回収可能性について慎重に検討した結果、2019年3月期決算において繰延税金資産を計上することといたしました。この繰延税金資産を計上した影響により、法人税等調整額を△856百万円(△は利益)計上いたしました。

以上